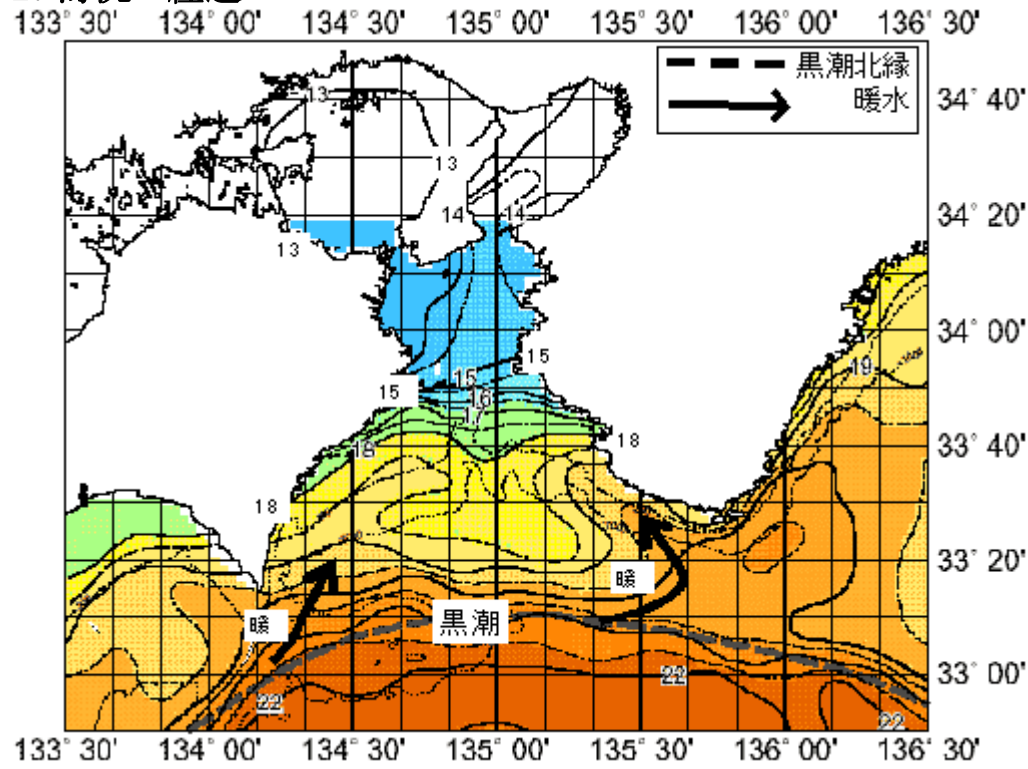


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.04.21)を示した。黒潮は室戸岬沖では接岸、潮岬沖ではやや離岸している。黒潮本流の表面水温は21～22℃台である。表面水温は播磨灘が13℃台、紀伊水道内部が13～14℃台、外域が15～18℃台である。紀伊水道外域には海部沿岸及び和歌山県側から黒潮系水が流入している。また、先週に続き、蒲生田南まで内海系水に覆われている。

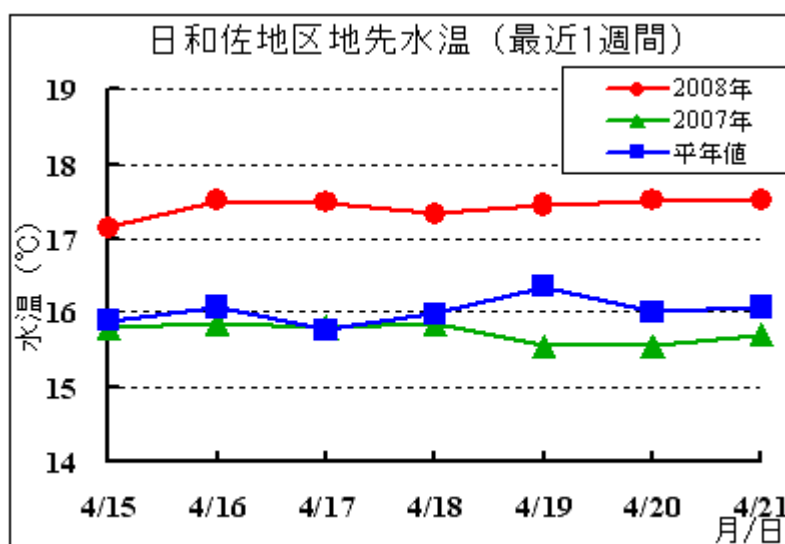
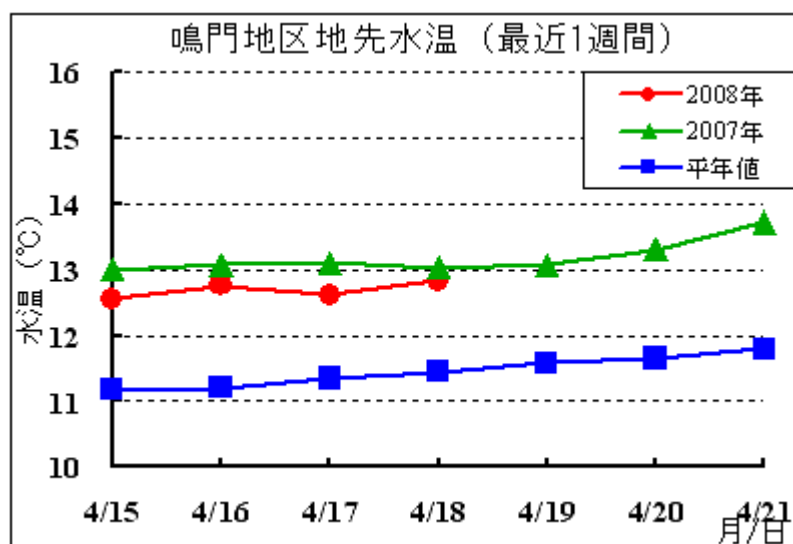
漁業調査船「とくしま」が4月9、11、14日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～50m層まで「平年並み」の13.2～14.2℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2008/04/09,11,14)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	13.5	13.2	13.6	13.5	14.2	今年値	32.8	33.2	33.5	33.6	34.0
平年偏差	0.4	0.2	0.0	-0.2	0.0	平年偏差	-0.4	-0.2	-0.1	-0.2	-0.1
前年偏差	-0.3	-0.6	-1.1	-1.6	-1.1	前年偏差	-0.6	-0.2	-0.3	-0.4	-0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の12.5～12.8℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の17.2～17.5℃、牟岐地区は「高め」の18.0～18.5℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**小型定置網:**海部沿岸で、大主体にアオリイカが 1.1トン(1日1隻あた 36kg)、キビナゴが 1.8トン(同 57kg)、大主体にタチウオ 0.6トン(同 50kg)、小主体にマアジが 0.9トン(同 21kg)、小主体にマルアジが 0.5トン(同 16kg)、マルソウダが 0.3トン(同 14kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、大主体にアオリイカが 0.7トン(同 91kg)、中主体にタチウオが 1.8トン(同 183kg)、特大主体にマアジが 0.3トン(同 36kg)、メジロが 2.5トン(同 501kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、タチウオが 0.8トン(同 30kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが 0.2トン(同 19kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが 1.4トン(同 50kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 04月14日～04月20日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置	海部沿岸	アオリイカ	32	1,143	36	大主体
		キビナゴ	31	1,756	57	
		タチウオ	12	598	50	大主体
		マアジ	46	949	21	小主体
		マルアジ	28	461	16	小主体
		マルソウダ	20	278	14	
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	8	726	91	大主体
		タチウオ	10	1,831	183	中主体
		マアジ	8	289	36	特大主体
		メジロ	5	2,505	501	
釣り	紀伊水道	タチウオ	27	821	30	
		タチウオ	12	233	19	特大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	27	1,350	50	

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬で接岸からやや離岸、潮岬でやや離岸から接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高めから高め」の12～13℃台、日和佐地先で「やや高めから高め」の17～18℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の曳き縄で、カツオが 52.1トン(1日1隻あたり0.1トン)、定置網で、ブリが 2.5トン(同0.2トン)、ワラサが 11.3トン(同1.0トン)、マアジが 4トン(0.4トン)、釣りでタチウオが 1.1トン(同75kg)、パッチ網でシラスが 6.1トン(同0.1トン)水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上